

1. 略歴

- 1987年3月 東京大学文学部第1類哲学専修課程卒業
- 1990年3月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程修了
- 1990年4月 同 博士課程進学 (1994年9月 退学)
- 1991年10月 ケンブリッジ大学大学院古典学部 Ph.D.コース入学
- 1995年10月 同大にて Ph.D.取得
- 1996年10月 九州大学文学部講師 (哲学・哲学史)
- 1998年4月 九州大学文学部、大学院人文科学研究院助教授 (哲学・哲学史)
- 2002年4月 慶應義塾大学文学部助教授 (哲学)
- 2006年3月 オランダ・ユトレヒト大学訪問研究員 (慶應義塾大学塾派遣留学 : 2007年9月まで)
- 2007年4月 慶應義塾大学文学部准教授 (哲学)
- 2008年4月 慶應義塾大学文学部教授 (哲学)
- 2016年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

西洋古代哲学、西洋古典学

b 研究課題

西洋における哲学の成立を、古代ギリシア哲学の初期から後期にかけて、哲学史と古典文献学的手法を用いながら多角的に検討することを課題とする。主なテーマとして、(1) 紀元前5~4世紀の古典期アテナイの知的状況、具体的には、ソフィスト思潮、ソクラテス、ソクラテス文学、プラトン、イソクラテスら、(2) 初期のイオニアとイタリアの知的状況、および、(3) ヘレニズム期から古代後期にかけての継承と展開、を扱っている。それらの分析をつうじて、現代における「哲学」のあり方を根源から見直し、新たな視野を得ることを目的としている。

また、古代ギリシア哲学が、19世紀以降の日本や東アジアにどのように導入され、翻訳や研究をつうじて社会や思想に影響を与えてきたかという受容史、もテーマにしている。

c 概要と自己評価

これまで、(1) の古典期アテナイ哲学を研究の中心に据えて、複数の研究書など成果をまとめ、プラトン『ポリテイア』を中心とする「イデア論」の解明をより詳細に進めた。近年は研究の重点を(2)によりおき、ギリシア哲学史の枠組みを作るべく、その方法論を確保した上で、まずは初期イオニアの哲学、および、イタリアの哲学に研究の焦点をあててその範囲で研究をまとめている。これらの作業をつうじて、ギリシアで哲学が誕生した前6世紀初めからヘレニズムに入る以前の前4世紀後半までのもっとも重要な3世紀ほどを全体として視野に入れつつ、それを「ギリシア哲学史」としてまとめている(2021年2月刊行予定)。

また、哲学をより広く展開する「世界哲学・世界哲学史」のプロジェクトを国内外の研究者と共同で進めている。その成果は『世界哲学史』(ちくま新書、全8巻+別巻、2020年)として編集・執筆し出版を開始した。

d 主要業績

(1) 著書

共編著、納富信留・檜垣立哉・柏端達也、『よくわかる哲学・思想』、ミネルヴァ書房、2019.4

単著、納富信留、プラトン『パイドン』訳・解説、光文社古典新訳文庫、2019.5

単著、納富信留、『プラトン哲学への旅 —エロースとは何者か—』、NHK出版新書、2019.10

共編著、伊藤邦武・山内史朗・中島隆博・納富信留、『世界哲学史1 —古代I 知恵から愛知へ—』、ちくま新書、2020.1

共編著、伊藤邦武・山内史朗・中島隆博・納富信留、『世界哲学史2 —古代II 世界哲学の成立と展開—』、ちくま新書、2020.2

共編著、伊藤邦武・山内史朗・中島隆博・納富信留、『世界哲学史3 —中世I 超越と普遍に向けて—』、ちくま新書、2020.3

(2) 論文

Noburu Notomi, "Epistemology in the Sophists", *Knowledge in Ancient Philosophy, The Philosophy of Knowledge: A History, Volume I*, Nicholas D. Smith (ed.), Bloomsbury Academic, 49-66 頁、2018.9

Noburu Notomi, “The Soul and Forms in Plato’s *Phaedo*”, *Plato’s Phaedo: Selected Papers from the Eleventh Symposium Platonicum*, Gabriele Cornelli, Thomas M. Robinson, and Francisco Bravo (eds.), Academia Verlag, 288-293 頁、2018.12

Noburu Notomi, “Imagination for Philosophical Exercise in Plato’s *Republic*: The Story of Gyges’ Ring and the Simile of the Sun”, *Psychology and Ontology in Plato*, Luca Pitolino and Evan Keeling (eds.), Springer, 1-13 頁、2019.1

「哲学の普遍性」、東京大学大学院人文社会系研究科・文学部哲学研究室『論集』37、2019.3.31、1-17 頁

納富信留、「アリストテレスのプラトン「イデア論」規定 — 『形而上学』A6, 987b7-10 再考—、『フィロロギカ — 古典文献学のために』14 号、古典文献学研究会、1-17 頁、2019.6

納富信留、「ハイデガーとプラトンの対決」、『Heidegger-Forum』第13号（電子ジャーナル）、ハイデガー・フォーラム、77-93 頁、2019.8 : <http://heideggerforum.main.jp/ej.htm>

納富信留、「古典文献学の可能性」、『書物学』17「特集、編集文献学への誘い」、勉誠出版、16-20 頁、2019.9

納富信留、「「ある」の愛求としてのプラトン哲学」、土橋茂樹編『存在論の再検討』、月曜社、22-44 頁、2020.2

納富信留、「タレス、あるいは自然哲学の誕生」、神崎忠昭・野元晋編『自然を前にした人間の哲学 — 古代から近代にかけての12の問いかけ』、慶應義塾大学出版会、3-20 頁、2020.2

(3) 書評

納富信留、「現象学の語りとその問題：田口茂『現象学という思考〈自明なもの〉の知へ』（筑摩選書、2014年）を読む」、『フッサール研究』14、113-127 頁、2017.3

Noburu Notomi, “Book Review: Why we write in Japanese: A brief introduction to recent Plato studies in Japan” (co-authored with Satoshi Ogihara), *Plato Journal* 19, International Plato Society, 101-106 頁、2019.7

(4) 学会発表

国際、Noburu Notomi, “Why Soul Matters: Reconsidering the Philosophical Contexts of Plato’s *On Soul*”, Forming the Soul: Plato and his Opponents – 2nd Asia Regional Meeting of the IPS, Chinese Culture University, Taipei, Taiwan, 2018.4.22

国際、Noburu Notomi, “Thinking of the Ideas from the East”, International Conference: Plato’s Philosophy in Interdisciplinary Context, Ivane Javkhisvili Tbilisi State University, Tbilisi, Georgia, 2018.5.29

国際、Noburu Notomi, “How Modern Japanese People Read Plato’s *Politeia*”, International Symposium: Plato, his Dialogues and Legacy, Bar Ilan University, Ramat-Gan, Israel, 2018.6.5

国際、Noburu Notomi, “Thinking of the Ideas from the East”, 4th Conference on Contemporary Philosophy in East Asia (CCPEA2018), National Chengchi University, Taipei, Taiwan, 2018.8.10

国内、納富信留、「ハイデガーとプラトンの対決」、ハイデガー・フォーラム第13回大会、早稲田大学、2018.9.16

国内、納富信留、「アリストテレスのプラトン「イデア論」規定再考 — 『形而上学』A6, 987b7-10—」、第17回フィロロギカ研究集会、成城大学、2018.10.13

国際、納富信留、「哲学の普遍性 철학의 보편성」、第5回東京大学・全南大学哲学科学術交流シンポジウム、韓国・光州市、全南大学、2019.2.22

国内、納富信留、「大西祝の批評主義から見る『哲学雑誌』」、第36回日本哲学史フォーラム、座談会「日本におけるアカデミズムの哲学史—『哲学雑誌』と『哲學研究』の比較研究—」、京都大学、2019.4.13

国際、Noburu Notomi, “Protagoras and the Sophists on Truth”, Conference: Truth and Relativism in Ancient Philosophy, Faculty of Philosophy, University of Groningen, Groningen, the Netherlands, 2019.6.19

国際、Noburu Notomi, “Homonymy and Likeness in Plato’s *Parmenides*”, The 11th Symposium Platonicum: Plato’s *Parmenides*, International Plato Society, INHA, Paris, France, 2019.7.18

国際、Noburu Notomi, Greek Philosophy in the context of World Philosophy: on universality、第6回中日哲学フォーラム、中国・広州、中山大学哲学系、2019.9.22

国際、Noburu Notomi, 「明治思想と西洋哲学」（日本語・英語要約）、中國文化大學「東亞人文社會科學研究的地平線—人物、文化、思想、海洋與經濟的交匯」國際學術論壇、台湾・台北、中國文化大學、2019.10.5

国際、Noburu Notomi, “Speaking in the First Person: Plato, Isocrates, and Epistolary Literature”, The 3rd International Conference on Classics: Texts, Thoughts, and the Self in the Ancient World, Department of Philosophy, Peking University, Beijing, China, 2019.11.23

国際、Noburu Notomi, “Protagoras’ *On Gods*: its context and an open tradition”, Princeton Classical Philosophy Conference, Princeton University, USA, 2019.12.7

国際、Noburu Notomi, ““Likeness” in Plato’s *Sophist* and *Parmenides*”, Relooking at Plato on Images, TORCH ‘Image and Thought’ Network Seminar, Worcester College, Oxford, 2020.2.21

(5) 解説・総合報告

納富信留、「Translations of Aristotle in Modern Japan”, *Tetsugaku: International Journal of the Philosophical Association of Japan*, vol. 2, The Philosophical Association of Japan, 7-8 頁、2018.4

納富信留、「文庫版解説」、浅野檜英『論証のレトリック —古代ギリシアの言論の技術—』、ちくま学芸文庫、228-234 頁、2018.4

納富信留、「解説」、井筒俊彦『神秘哲学 —ギリシアの部』、岩波文庫、635-648 頁、2019.2

納富信留、「書物逍遥 古代に向き合う喜び」、『ミネルヴァ通信「究」』第 101 号、ミネルヴァ書房、2019.8

納富信留、「世界哲学から考える、世界哲学史を描く」、『ちくま』第 587 号、4-5 頁、2020.2

納富信留、「世界哲学としての日本哲学 —その可能性と問題点—」、比較思想学会『比較 思想研究』46 号「特集 2 世界哲学をリードする日本哲学 コメント」、44-47 頁、2020.3

(6) 翻訳

Noburu Notomi (trans.), KANZAKI Shigeru, “Can We Translate Thinking? On the Translated Word “*Koufuku*””, *Tetsugaku: International Journal of the Philosophical Association of Japan*, vol. 2, The Philosophical Association of Japan, 9-28 頁、2018.4

(7) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究 (B)、納富信留、Noburu Notomi、研究代表者、「古代ギリシア文明における超越と人間の価値—欧文総合研究—」、2016～

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

納富信留、ワークショップ提題“*What is an author?: Greek Case*”, Textual Scholarship Workshop: *What is an author?*, JSPS Research Project, Hongo Campus, The University of Tokyo, 2018.6.19

納富信留、提題「世界哲学の理念と追求：課題の提案」、第 1 回京都フォーラム「世界哲学を構想する会」、リーガロイヤルホテル京都、2018.7.28

納富信留、コメンテータ “*Documentary Projection “Shaking the Cradle” (2014) & Roundtable Discussion: an assessment about actual world and philosophical studies situation five years after the World Congress of Philosophy in Athens*”, The XXIV World Congress of Philosophy, China Natinal Convention Center Beijing, P. R. China, 2018.8.19

納富信留、講演「古代ギリシア・ローマにおける老年の哲学」、東大「長寿社会のあり方を考える会主催」研究会、「古い」の哲学、東京大学 EMP ラウンジ、2018.10.10

納富信留、模擬講義「ギリシア哲学への誘い」、模擬授業「学問の面白さを学ぶ」、東京都立小山台高等学校、2018.12.21

納富信留、研究報告「出陣をめぐる」、科研費プロジェクト研究会、東京大学文学部哲学研究室、2018.12.25

納富信留、コメンテータ「トマス・カスリス (オハイオ州立大学特別名誉教授) 講演へのコメント」、東大研・GJS 共催ワークショップ「東京学派の研究 (第 3 回): 日本哲学と東京大学の哲学」、東京大学東洋文化研究所、2019.1.22

納富信留、研究報告 “*Sustainability and Humanities: From a Philosophical Point of View*”, The 4th University of Cambridge - The University of Tokyo Joint Symposium, “*Sustainability and Innovation for Society*”, The University of Tokyo, 2019.3.27

納富信留、コメンテータ「世界哲学としての日本哲学」、パネルディスカッション「世界哲学をリードする日本哲学」コメンテータ、比較思想学会第 46 回大会、西田幾多郎哲学記念館、2019.6.15

納富信留、コメンテータ「シンポジウム：世界哲学としての中国哲学」、中国社会文化学会 2019 年度大会、東京大学文学部、2019.7.7

納富信留、提題「世界哲学の展開／普遍性の再考」、第 5 回京都フォーラム「世界哲学を構想する会」、リーガロイヤルホテル大阪、2019.7.13

納富信留、研究報告 “*Promoting World Philosophy*”, EAA フォーラム「東アジアから考える世界文学と世界哲学」、東京大学本郷キャンパス、東洋文化研究所、2019.7.23

納富信留、研究報告「西洋古典文献学とデジタル」、科研基盤 A 「仏教学デジタル知識基盤の継承と発展」第 1 回研究会、東京大学文学部、2019.7.27

納富信留、提題「古代哲学に遡る形而上学」、アンリ・ベルクソン『コレージュ・ド・フランス講義 1902-1903 年度 時間観念の歴史』書評会、学習院大学、2019.9.6

納富信留、提題「ことばのあり方 —哲学からの考察—」、第 18 回東京大学ホームカミングデイ・文学部シンポジウム「ことばの危機」、東京大学文学部、2019.10.19

納富信留、司会・趣旨説明「世界哲学とは何か」、日本学術会議公開シンポジウム「世界哲学の可能性」、日本学術会議講堂、2019.11.30

納富信留、模擬講義「ギリシア哲学への誘い」、模擬授業「学問の面白さを学ぶ」、東京都立小山台高等学校、2019.12.20

(2) 学会

International Federation of Philosophical Societies (FISP), Steering Committee Member, 2018.8

International Plato Society, Advisory Board, 2013.7～

日本学術会議・連携会員、2014.10～

日本西洋古典学会・委員、2001.6～、常任委員、2016.6～

日本哲学会・評議員、2011.6～、理事、2015.5～2018.5、欧文誌編集委員長、2016.5～2018.5

新プラトン主義協会・理事、2018.9～

フィロロギカ [古典文献学研究会]・編集委員、2005.10～

ギリシャ哲学セミナー・運営委員、2005.9～、幹事、2015.9～

The Korean Society of Greco-Roman Studies, Editorial Board, 2008.8～

Korean Philosophical Association, Editorial Board, 2013.3～